

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

2019年度
第41期
事業報告書

公益財団法人松尾芸能振興財団
東京都港区南青山 6-1-3

2019 年度事業報告

事業の状況

2019 年 4 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日までに行った当財団第 41 期芸能振興事業は、次の通りです。

1. 第 41 回松尾芸能賞

前年と同様、2019 年 12 月より 2020 年 2 月にわたり、文化庁文化財第一課芸能部門よりご指導のもと、選考委員 9 名による選考委員会において検討を重ねた結果、各種部門候補者 52 名のうち、受賞候補者は 8 名に絞られた。その後、更にこれを最終検討の上、理事会にて承認決定が行われ、以下の通り第 41 回松尾芸能賞受賞者を決定とし、2020 年 2 月 18 日に公式発表を行った。

1) 第 41 回松尾芸能賞受賞者

賞種別	部門	名前
大賞	邦楽	宮田哲男
優秀賞	文楽	鶴澤燕三
優秀賞	舞踊	井上葉子
優秀賞	演劇	明日海りお
新人賞	演劇	中村梅枝
新人賞	歌謡	中澤卓也
特別賞	邦楽	栄芝（春日とよ栄芝）
功労賞	邦楽	藤舎呂浩
合計 8 名		

2) 第 41 回松尾芸能賞贈呈式ならびに祝賀会の中止

以下の内容にて予定していた贈呈式ならびに祝賀会は、新型コロナウイルスの国内感染状況を踏まえ安全面を第一に考慮し感染拡大防止の観点から、3 月 3 日に中止を決定した。

式典名： 第 41 回松尾芸能賞贈呈式

日程： 2020 年 3 月 27 日（金）

時間： 午後 6 時より贈呈式 午後 7 時 30 分より祝賀会

場所： 帝国ホテル東京／富士の間（東京都千代田区内幸町 1-1-1）

参加予定： 全受賞者、文化庁、理事、監事、評議員、選考委員のほか、招待者を含む約 250 名

2. 自主公演「女性による伝統芸能の伝承」

以下の内容にて、昨年に続き伝統芸能の世界における女性のポテンシャルを引き出し、活路を見出すことを目指した「第4回女性による伝統芸能の伝承 乙女文楽」公演は、台風19号の接近に伴う悪天候と公共交通機関の大幅運休の状況を踏まえ、前日の舞台稽古終了後に中止を決定した。中止に伴い鑑賞料は払戻しとし、12月末までに返金手続きを完了した。

公 演 名： 第4回女性による伝統芸能の伝承 乙女文楽
日 程： 2019年10月12日（土）
時 間： 午後2時開演
場 所： 国立劇場小劇場(東京都千代田区隼町4-1)
構 成： 文楽（ひとり遣い）
出 演： ひとみ座乙女文楽
演 奏： 義太夫節 浄瑠璃 竹本綾之助 竹本土佐子 他
三味線 鶴澤寛也 鶴澤津賀花 他
囃 子 望月太左衛社中
演 目： 「二人三番叟」「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」「近頃河原の達引 堀川猿廻しの段」
鑑 賞 料： 指定席 3,000円（税込）
来場予定者数： 574名（一般来場、招待の合計）
9月2日より販売開始した鑑賞券は9月24日時点で完売

3. 松尾塾伝統芸能

2019年8月から9月にかけて、小学1年生から中学3年生を対象に第4期生を募集した。3名の応募者から書類選考および面接を経て1名を合格とし、10月に1名が入塾した。現在は、小学2年生から高校2年生の13名が在塾している。

1) 2019年4月から2020年3月まで稽古を予定し、2月中旬まで予定通り稽古を実施した。その後、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、少人数制で稽古を実施したが、3月23日以降は休講とした。

日 程： 基本、毎週日曜日
時 間： 午前10時から午後2時30分 途中休憩あり
場 所： 松尾塾伝統芸能 東日本橋稽古場
回 数： 45回（新型コロナウイルスの影響により3回休講）
内 容： 狂 言 小舞・謡・狂言
日本舞踊 女舞・男舞
長 唄 唄・三味線
鳴 物 小鼓・大鼓・太鼓

2) 稽古の成果を発表する場として「第三回松尾塾伝統芸能 ～子供が挑む伝統芸能～」を実施した。

公演名：第三回松尾塾伝統芸能 ～子供が挑む伝統芸能～

日時・場所：狂言 2019年6月30日(日)午後2時開演
矢来能楽堂(東京都新宿区矢来町60)

日本舞踊・長唄・鳴物

2019年8月17日(土)午後2時開演

中央区日本橋公会堂(東京都中央区日本橋蛸殻町1-31-1)

演目：狂言 小舞「花の袖」「海道下り」「暁」「七つ子」
狂言「魚説法」「口真似」「附子」「柿山伏」

日本舞踊・長唄・鳴物

日本舞踊 「晒三番叟」「菊」

長唄 「末広狩」「松の緑」

鳴物 「供奴」

長唄・鳴物 「雛鶴三番叟」「鞍馬山」

賛助出演：狂言 (後見) 中村修一 内藤連

日本舞踊 (振付) 花柳輔太朗 (後見) 花柳輔瑞佳 花柳美輝風

長唄 (唄) 東音福田眞規 東音小林百合 大島早智 三井千絵
(三味線) 東音塚原勝利 東音山内美穂 東音布施田千郁

鳴物 藤舎千穂 藤舎朱音 藤舎清穂 藤舎夏実 堅田喜代実
望月実加子 望月美沙輔

鑑賞料：無料 (狂言、日本舞踊・長唄・鳴物ともに)

入場者数：狂言 194名

日本舞踊・長唄・鳴物 240名

3) 以下の催しにゲスト出演した

公演名：神田神社文化交流館1周年記念

「江戸文化遺産講座&フェスティバル 神田祭の芸能」

日時・場所：2019年12月15日(日)

江戸総鎮守 神田明神(東京都千代田区外神田2-16-2)

演目・配役：花魁道中 禿、新造、小若 役

4. 助成事業

日本独自の文化、芸能の保存及び向上に寄与することを目的とし、日本伝統芸能の振興、継承を目指す個人、または団体に助成金を交付した。

2019年度助成事業対象者

活動期間：2020年4月1日～2021年3月31日

団体・個人	活動名称	分野
団体	現代邦楽“考”	伝統芸能活動分野
団体	第11回高円寺演芸まつり	伝統芸能活動分野
団体	寿ぎの宴	伝統芸能活動分野
団体	只越虎舞	地域の芸能振興分野
団体	教員向け長唄実技講習会	教育助成金
	合 計	5 団体